

## SaaS・クラウドコンピューティングに関する調査結果 2009

- 収縮するシステムインテグレーション、クラウド時代の注目ビジネス -

## 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて SaaS・クラウドコンピューティングの動向調査を実施した。

1. 調査期間: 2008年11月～2009年2月
2. 調査対象: システムインテグレーター、ソフトウェアベンダー
3. 調査方法: 当社専門研究員による直接面談、社内蓄積データ、文献調査併用

## &lt; SaaS・クラウドコンピューティングとは &gt;

一般的にはそれぞれ下記と定義される。

SaaS (Software as a Service): ソフトウェアを、ネットワークを通じてサービスとして提供する形態のこと

クラウドコンピューティング: ITに関わるさまざまなリソースを、ネットワークを通じて提供する新しい形態のこと

なお、市場規模については、本調査では企業向けソフトウェアのうちERPソリューションをネットワーク経由で利用する形態（ホスティングサービスを活用したASPなども含む）について予測した。

## 【調査結果サマリー】

## ◆ 2008年のERPソリューションのSaaS・クラウドコンピューティング市場規模は213億円

2008年のERPソリューション市場におけるSaaS・クラウドコンピューティング市場規模は、3.6%の構成比を占める213億円であった。今後、2016年には市場全体における構成比で約28%、金額ベースでいえば1,770億円になると予測する。

## ◆ システムインテグレーションが縮小し、クラウドインテグレーションが立ち上がる

今後、SaaSが本格的に普及すれば、多様なサービスが市場へ登場するようになる。ユーザーは既存の社内システムのうち、既存システムの一部を継続利用するが、一部はSaaS利用へと移行することになると考える。その結果、今後のインテグレーションビジネスは、SaaSと既存システムとでデータ連携を行うといったクラウドインテグレーションの比重が徐々に高まってくると予測する。

また、今後のSIerには多種多様なSaaSやBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスの中から、ユーザー企業に適したメニューを選定し、セットで提供するというサービスコーディネーターとしての役割が期待される。

## ◆ 資料体裁

資料名: 「SaaS・クラウドコンピューティングのインパクトと市場展望」

発刊日: 2009年2月10日

体裁: A4判153頁

定価: 99,750円(本体価格95,000円、消費税等4,750円)

## ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地: 東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長: 水越 孝

設立: 1958年3月 年間レポート発刊: 約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております) <http://www.yano.co.jp/>

(株)矢野経済研究所 営業本部 広報・PRグループ TEL: 03-5371-6912 E-mail: [press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報・PRグループ迄お問合せ下さい。

**【 調査結果の概要 】****1 市場概況と将来展望**

2008年のERPソリューション市場におけるSaaS・クラウドコンピューティング市場規模は、市場全体の構成比の3.6%を占める213億円であった。今後、クラウドコンピューティングは大手SIer(システムインテグレーター)のホスティング事業などを内包する形で進化し、徐々に基幹系システム分野でも構成比を高めていくものと考えられる。また、ERPパッケージベンダーもパッケージソフトウェアのSaaS化に取り組むと見込まれるため、ますますクラウドコンピューティングの市場での存在感は高まると予測する。

2012年にはERPソリューション市場におけるSaaS・クラウドコンピューティング市場は、市場全体の約11%を占め、金額ベースでは691億円に到達すると予測する。なお、2008年から2012年までのCAGR(年平均成長率)は約34%となる見込みである。その後、2016年には市場全体における構成比で約28%、金額ベースでいえば1,770億円になると予測する。

**2.国内システムインテグレーターの参入と従来型ビジネスモデルの危機**

ソフトウェアをパッケージではなく、インターネットなどを経由したサービスとして提供するSaaSや、各種ITリソースを同様に提供するクラウドコンピューティング分野については海外ベンダーが先じていたが、昨今国内大手SIerも正式に参入を表明し、話題を呼んでいる。

国内IT産業においては、これまでSIerが主要プレーヤーとして活躍し、ユーザー企業が求める情報システムをハードやソフトを取りまとめて提案、提供するビジネスを展開してきた。しかし、SaaSやクラウドコンピューティングは、ユーザー企業が直接ネットワークを通じてソフトウェアやITリソースを調達できるビジネスモデルであるため、SIerの従来型のビジネスにとって脅威になるといわれている。

**3.注目すべき動向****3-1. クラウドコンピューティングによりシステムインテグレーション市場は縮小へ**

クラウドコンピューティングの台頭により、ユーザー企業は情報システムの多くを自ら所有する必要がなくなってくる。それゆえ、これまでユーザー企業へ情報システムの構築業務を提供してきたSIerにとって、ハードウェアの販売やソフトウェアのカスタマイズなどのビジネスが収縮し、システムインテグレーション市場は将来的に縮小すると予測する。

**3-2. フロー型からストック型へ転換**

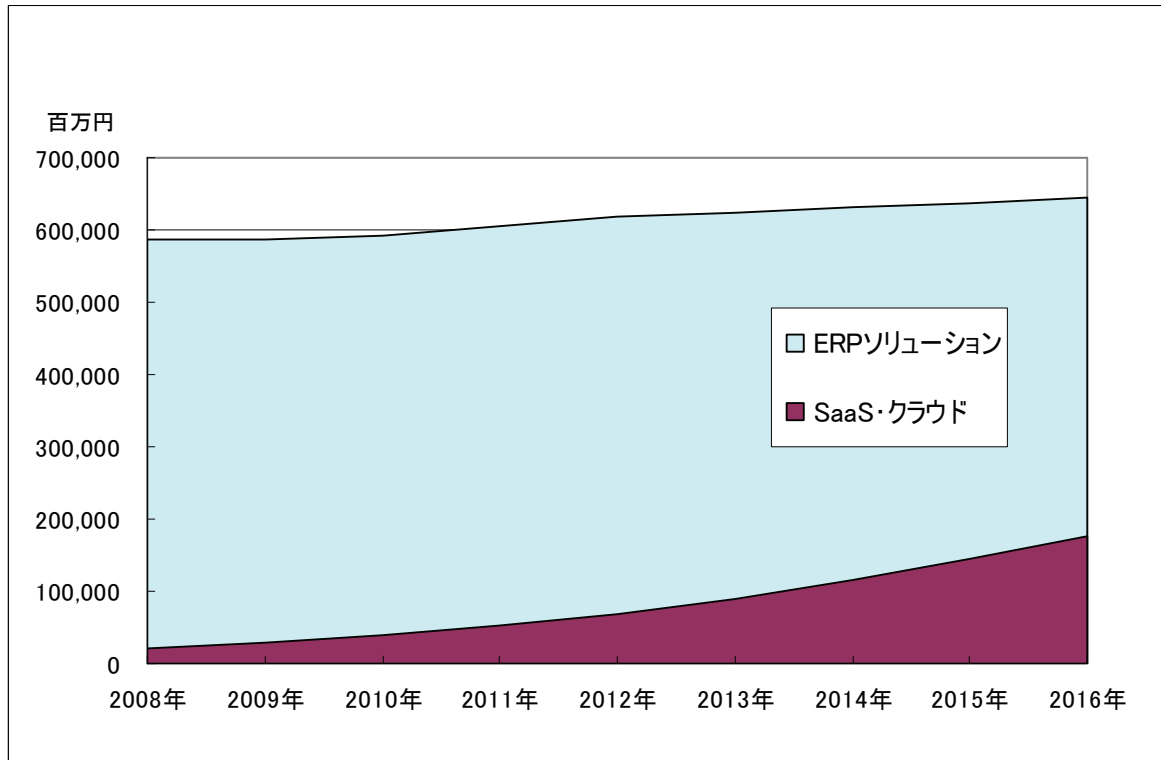
前述したように、仮想化技術を駆使したIT基盤やSaaSプラットフォームなどを整備し、クラウドコンピューティング市場へ参入した国内大手SIer各社は、これまでの請負型システムインテグレーションビジネス(フロー型)から各種ITリソースの提供により月額料金で売上を稼ぐストック型ビジネスへの転換を図る動きが本格化すると見込まれる。

**3-2. クラウドインテグレーションとサービス提案がカギ**

今後、SaaSが本格的に普及すれば、多様なサービスが市場へ登場するようになる。ユーザーは既存の社内システムのうち、既存システムの一部を継続利用するが、一部はSaaS利用へと移行することになると考える。その結果、今後のインテグレーションビジネスは、SaaSと既存システムとでデータ連携を行うといったクラウドインテグレーションの比重が徐々に高まると予測する。

こうしたことから、今後のSIerには多種多様なSaaSやBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスの中から、ユーザー企業に適したメニューを選定し、セットで提供するというサービスコーディネーターとしての役割が期待される。

図表 1. ERP ソリューションにおける SaaS・クラウドコンピューティング市場規模予測



	2008年	2009年(予)	2010年(予)	2011年(予)	2012年(予)	2013年(予)	2014年(予)	2015年(予)	2016年(予)
ERPソリューション	587,900	587,900	591,500	606,400	617,500	624,600	631,300	637,600	643,500
対前年比		100.0%	100.6%	102.5%	101.8%	101.1%	101.1%	101.0%	100.9%
CAGR		0.0%	0.3%	1.0%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.1%
SaaS・クラウド	21,300	28,600	38,300	51,900	69,100	90,100	115,300	144,500	177,000
対前年比		134.3%	133.9%	135.5%	133.1%	130.4%	128.0%	125.3%	122.5%
CAGR		34.3%	34.1%	34.6%	34.2%	33.4%	32.5%	31.5%	30.3%
構成比	3.6%	4.9%	6.5%	8.6%	11.2%	14.4%	18.3%	22.7%	27.5%

矢野経済研究所推計

注 1 : エンドユーザー渡し価格ベース

注 2: (予)は予測値

注 3: CAGR は 2008 年からの年平均成長率

注 4: ERP ソリューションには、ライセンス、コンサルティング、インテグレーション、サポートサービス等を含む